



例会報告

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 会長 斎藤 章
- 幹事 井辺 一章
- 会報委員長 伊藤 松寿



「穂高連邦の朝景」 蜘蛛 康介

<会長の時間>

本日は、古事記・日本書記以前のお話です。

古史古伝・・・古事記以前の書

古史古伝とは、神代を歴史的叙述の対象とし、神代文字に関する伝承を有する古文献と称されるもので、多くは没落した民族の伝承と伝えられ、アカデミズムに史料的价值を認められない共通性がある。



上記 (うえつふみ)

1223年に編纂されたもの。天保初年に発見され、明治以降流布した。神代から神武天皇までの歴史が豊国新字という神代文字で記されている。ニニギに先立ちスサノオに始まる出雲七代の歴史が記されている。神武以前にウガヤフキアエズノミコトを世襲する七二代の継続王朝を介在させることなどである。また、豊国新字は山窩(さんか)文字との類似が指摘されており、『上記』は明治初期の九州の山窩が作ったという説がある。序文は偽作という見方がされているが、本文が文体・用語の面で記紀・『万葉集』の時代でさえ死語となっていたような語彙が使われているなど、『上記』の価値は定まっていない。吉良氏の『上記鈔訳』が、ウガヤフキアエズ王朝を記す他の古史古伝(『竹内文書』『九鬼文書』『富士古文献』など)に影響を与えたと言われている。

竹内文書

武内宿禰の孫の平群真鳥が、雄略天皇の命により神代文字を翻訳した原本の写しと、皇祖皇太神社由来の神宝類を含む資料の総称。竹内家の養子である巨鷹は明治四三年に天津教を開き、大正末から昭和初期に『竹内文書』を公表した。内容は原始神の宇宙創成から神々の地球降臨、人類の誕生、二度にわたる超古代文明の興亡を伝える。世界的、壮大なスケールの記述が多く、世界には五色人が存在し、みな日本から発したこと。モーゼ、マホメット、釈迦、孔子などが来日して教を学んだこと。ボストンやサンフランシスコ、アフリカ、オセアニアなどという地名まで登場する。オリハルコンを彷彿させるヒヒイログネという金属も記されている。『竹内文書』もウガヤフキアエズ王朝を記すが、その歴代天皇名の漢字表記が『上記鈔訳』と非常に類似している。

秀真伝 (ほつまつたえ)

景行朝に朝廷に献じたもの。季聡は大田田根子であるとする。全文が秀真文字で書かれた五七調の叙事詩で、特徴は、記紀のアマテラスが男神アマテルとして語られる。宇宙創造において、原初神・国常立から流出した地水火風空の五元素が混じりあったとされ、古

代インドの宇宙観と一致する。イサナミがアマテルを産んだ際に嬰兒は胎衣に包まれて卵のように見えたとあり、朝鮮の建国神話に見られる卵生説話を連想させる。高天原は日高見国にあり、その日高見国を仙台地方とする。天孫降臨はニギハヤヒとニニギの二度あったとすること、などである。

宮下文書 (富士文献)

秦の方士徐福が八五隻の大船団を率いて渡来し、紀州熊野に到着した。その後富士山麓に土着し、阿祖山太神宮に伝わる伝承を編纂した。この『徐福伝』を原本とし、宮下家に伝えられていたが、富士山こそ蓬萊山であり、高天原が富士山麓にあったとする主張は全編を貫いている。日本の神々はもともと大陸で発祥し、高皇産靈神が初めて東方進出を志し、子の国狭槌尊とともに富士山麓に都を置いた。高皇産靈神の死後、国狭槌尊は先遣隊を率いて先に日本列島に来ていた兄・国常立尊と再会し、日本列島を分割統治したとする。『宮下文書』も『竹内文書』同様、ウガヤ王朝の記述が『上記』と符号し、また木花咲耶姫尊の悲劇的な説話が『ラーマーヤナ』と酷似するなど問題点は多いが、古史古伝のなかで唯一原本の影印版が刊行されている。

九鬼 (くかみ) 文書

神代文字の原文を藤原不比等が漢字に書き改めたもので、丹後綾部の九鬼氏が保管してきたという。その内容の一番の特徴は出雲王朝を正統としていることである。万国の首都である高天原は出雲の地にあり、スサノオの系譜に現在の天皇が繋がるとされているのである。日本とユダヤの交流を記している点でも異色で、この文書の公開を働きかけた、『九鬼文書の研究』を書いた三浦一郎は日ユ同祖論者として知られていた。『九鬼文書』は『竹内文書』の影響が強いと指摘され、出現経緯や内容・表現から見て、近代以降の成立である事は明らかである。また綾部の大本教との関係が深いとされる。

東日流外三郡誌 (つがるそとさんぐんし)

昭和22年に和田氏の天井裏から箱ごと落下して発見されたという。内容は古代津軽の民・荒吐族の国家と大和朝廷の抗争の歴史、及び荒吐族の末裔である安倍氏・安東氏・秋田氏の活躍と没落である。荒吐族とは、アソベ族・ツボケ族など縄文人を思わせる先住民、神武東征によって邪馬台国を追われた安日彦・長髓彦兄弟の一族、中国系渡来民の混成によって成立した民族であり、いわゆる蝦夷の主力だという。

先代旧事本紀大成経

聖徳太子が推古天皇の命を受け編纂したものとされる。歴史的記述と文化的各論を加えた膨大なスケールの文献で、全編に神儒仏三

例会報告

教一致思想が流れており、特に教典というものを持たない神道の教典的性格を有する。伊雑宮の方が伊勢内宮より古くからアマテラスを祀っていたという記事が伊勢神宮の反発を招き、江戸幕府により偽書として禁圧された。文書の由来や作者などには依然謎が多いとされる。

物部文書

成立・編者ともに不明。祖神ニギハヤヒの鳥海山降臨と、天日宮の創建、物部氏の大和への西遷、長髓彦との和睦、神武への従属、神攻皇后の北海征伐、崇仁戦争の敗北と物部氏の故地回復などが、天日宮に関連した縁起譚となって記されている。物部氏の家伝である禁厭伝や祈祷法が記されており、物部氏の宗教儀礼を知るうえで貴重であり、大和物部氏が所持した十種の神宝を秋田の物部家が伝えたと言われている。

契丹古伝(きつたんこでん)

日露戦争中の明治38年、浜名寛祐は、日韓古語の研究からその解読に成功し、大正15年に『契丹古伝』を発表した。同定が困難であったが、古代においては東アジア全域に共通する言語圏が存在したことが想定される。浜名によれば、『契丹古伝』はスサノオ尊と同定しうる神祖が聖地・白頭山に降臨したという神話を核心とし、シウカラ(東大神族)とよばれたその末裔たちが韓・満洲・日本の3大民族の祖として大陸に雄飛したことを伝える。古代中国の堯・舜・殷はこのシウカラ系の国家であったが、西族(漢民族)によって中原を追われる。『契丹古伝』によれば、のちに東夷とよばれるようになる日・韓・満民族こそが中国大陸に超古代王朝を築いた先住民であり、契丹王朝もその末裔であった。今後の再評価が大いに待たれる異色の超古代文献である。

なお、スサノオが大陸を経綸した霊的消息については「霊界物語」にも伝えられ、王仁三郎の入蒙問題とも関連して注目されることである。このような「古事記以前の書」の書を「古史古伝」と名づけたのは、これらの古文書や神代文字研究の分野で精力的に活躍している吾郷清彦氏だ。氏は、古事記、日本書紀、古語拾遺の三書を「古典三書」、それに先代旧事本紀(旧事紀)を加えて「古書四書」と呼ぶ。そして竹内文書、九鬼文書、宮下文書、三書を「古史三書」、また、これらと似ているが系統のちがった伝承を伝える上記、秀真伝、三笠紀の三書を「古伝三書」と呼び、あわせて「古史古伝」としたわけである。

<幹事報告>

◎ガバナーより

・国際青少年交換 2013-2014
夏期派遣学生募集案内

派遣先 アメリカ、フランス、スウェーデン、オーストラリア、ノルウェー、韓国等

資格 ロータリークラブの推薦する男女高校生(願書提出時在学中で中学3年生、高校1年生・2年生の者)で、学業成績は平均以上、なるべくクラスの上位3分の1以内の者、日本国籍を有する者

期間 2013年8月より1年間



選考日 9月16日(日) ハートフルスクエアG
内定通知 9月下旬。推薦クラブ会長宛に通知する
回答期限 9月5日(水)必着

◎光記念館より

・特別展のご案内および優待券

北大路魯山人と陶芸展 期日 6月14日(木)～9月4日(火)

<受贈誌>

ロータリー米山記念奨学会(ハイライトよねやま147)、
高山市民憲章推進協議会(総会資料)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	42名	1名	43名	50名	86.00%
本日	42名	—	42名	51名	82.35%

新会員挨拶

小瀬 真之介さん

(株)真設計 代表取締役



<本日のプログラム> クラブアッセンブリー



クラブ奉仕委員長

古橋 直彦

クラブ奉仕委員会は 会報・親睦活動・ニコニコ・雑誌広報・会員増強・出席プログラム・ロータリー情報 以上会務の委員会に属する委員長さんで

構成されています。各委員長さん一年間御苦労さまでした。特に、会員増強・親睦活動委員長及びメンバーの皆様には感謝申し上げます。

さて、3月に第二回目のクラブ奉仕委員会を開催しました。折茂エレクト、米澤幹事、次年度田中クラブ奉仕委員長にも参加頂き今年度の委員長さんから委員会活動報告と次年度への申し送りアドバイス等をさせて頂きました。

次年度田中クラブ奉仕委員長さんは会務7委員会に属する委員長さんを代表し理事会に出られますので各委員会の思いが反映される様配慮頂くことをお願いし報告といたします。

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

例会報告



出席・プログラム委員長

垂井 政機

出席・プログラム委員会より、後半の報告をさせていただきます。

まず出席の方ですが、後半例会 20 回分の出席率は 76.99%、補正出席率 92.74%とまずまずの成績であったかと思っております。しかしながら、いいかげんのメーキャップが多い様で一考の余地があると思われま

す。次にプログラムについて後半の概略を発表いたします。今期は斎藤会長の意向もあって会員のスピーチを多くとり入れたいとのことでありましたので、そのような方針で推移させていただきました。幸なことに、増強委員会のおかげ様で新入会員がたくさん入会されましたので、新入会員スピーチを何回かやっていただけ

- 1月13日 新入会員 下屋君のスピーチ
- 2月3日 向川原君のスピーチ
- 2月17日 地区国際青少年交換副委員長 向井龍三(下呂 RC)様
青少年交換留学生の現状についてのお話
- 2月24日 訪問看護ステーション統括所長 野崎加世子様
「わたしの町の、ほけん室」について
- 3月2日 高山市校長会 中学代表 阪本 幸雄 先生
義務教育9カ年皆出席表彰によせてのスピーチ
- 3月9日 チベットの僧侶 林久義 様 脱原発について
- 3月16日 高山市民活動推進課長 大平哲也 様
協働のまちづくりに向けて
- 3月23日 伊藤松寿君 CLP について
- 4月6日 新入会員 塚本君スピーチ
- 4月13日 (株)飛騨高山テレエフエム取締役 大岩 英夫 様
コミュニテイ FM 局について
- 4月27日 大村君 道脇君 小田君より 地区協議会報告
- 4月20日 新入会員 長瀬君スピーチ
- 5月11日 インターアクト荒川先生 斎藤花歩部長
IACクイズは大多数が不正解
- 5月25日 高山赤十字病院 元院長 松下 捷彦 先生
放射線障害について
- 6月1日 新入会員 大豆村君スピーチ
- 6月8日 新入会員 大村君のスピーチと 下屋君のスイスでの
メーキャップの様子について でした。

プログラム委員長としましては力不足であり、またプログラムの変更などもありましてメンバー皆様にご迷惑をおかけいたしました。各委員長様はじめ皆様のお力添えをいただきまして、なんとか乗り切れました。

一年間 ありがとうございます。

会報委員長 伊藤 松寿

会報委員会では、年46回の例会について内容をホームページ上に公開しております。また、ご要望により紙面プリントアウトも行って



おり、現在9名の方がご利用されています。トップページに月替わりで素晴らしい写真を提供していただいておりますが、会報副委員長でもある蜘蛛さんのご協力によります。

今年度初めには事務局員の入院というアクシデントがありましたが、例会開始前までに前週の会報を公開する、という取り決めについて一度の遅延もなく進める事が出来ましたのも皆様方のご協力の賜物です。ありがとうございました。



親睦活動委員長

堀川 和士

副委員長は、道脇 清春さん、委員は、伊藤松寿、河尻浩次、河渡正暁、堺 和信、田中 武、垂井正機、新田敬義、洞口良一

門前庄次郎、垣内久男、向井規規、吉川晃市、東 庄豪、下屋勝比古、向川原毅彦、大村貴之、長瀬達三、塚本直人、山蔵真輔の総勢21名となりました。

①基本方針

「ロータリー精神は親睦と奉仕の調和の中に宿る」

会員・家族、手と手を繋いで友の温もりを感じ、四季の風物詩を盛り込んで、それは楽しい主事業を構成する。

②本年度の構想

例年にとらわれない独自の発案で、良かったなと感じていただける持ち出し例会を目指す。

終了した事業

1. 納涼ゆかた例会 8月19日(金) 午後6時30分より
場所 洲さき 出席者 36名(出席率約90%)
クラブ予算 ¥220,000 会員負担 ¥8,000
樽酒を活用したため酒代が¥1,000 返金
2. 新年家族例会 1月7日(土) 午後6時より
場所 宝生閣 出席者 59名
クラブ予算 ¥300,000
会員負担 ¥10,000 夫婦同伴 ¥13,000
多くの夫人が出席され盛況でした
3. 新緑例会 5月20日(日) 午前6時出発
場所 雨晴マリナー 昼食宴会 女岩荘
出席者 35名 クラブ予算 ¥430,000

こころの中を見つめよう 博愛を広めるために

例会報告

会員負担無料 夫人¥2,000 負担

怪我トラブル無く海況、天候に恵まれ楽しく
予定通り催行されました。

心もとない委員長以下、頭数だけ多い親睦委員会ではございましたが今年度一年間、無事に主事業を終えることが出来たのも、会員皆様のご協力があったからこそ結果であり、心の底より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

ニコニコ委員長 田中 正躬

皆様、ニコニコには大変ご協力頂き有難うございます。

この1年間、垣内 秀文さん、岡田さん、小田さん、野戸さん、洞口さん、私田中正躬の6人で2人組2ヶ月ずつ2回それぞれ受付をさせて頂きました。後残す所1回のみとなりましたが、皆様のご協力は今日で88万円となりました。感謝申し上げます。

12月の担当例会では、田近さんから「暮れだから落語のビデオでも見てみないか」の助言をいただき実施いたしました。田近さんと斎藤会長には題目選びから全てお世話を頂きありがとうございました。今回は1年間を通して、ニコニコ賞・ニコニコ大賞をどなたかに差し上げたいと考えております。一年間ありがとうございました。



雑誌・広報委員長 小田 博司

こんにちは。本年度は、副委員長に鴻野さん 委員に野戸さん、菱川さん、山本さんの5名でした。

さて、当委員会の本年度の活動も、従来行われてきた活動内容と概ね同様の活動であったと振り返ります。24年2月20日ころに三ロータリー共同で各クラブの活動内容を掲載し、第一例会における雑誌の紹介と言ったところでしょうか。

課題、反省点として、独立した当委員会の必要性の可否、スケジュールの多い第一例会における雑誌の紹介の在り方又はその方法等々。当クラブの活動を地域に発信する内容、方策等の議論することもなく、常に変革しながら歩むもうとする意思も少なく委員長失格の一年だったと少し反省。

次年度の委員会の活躍を少し期待します。

会員増強・職業分類選考委員長 阪下 六代

会員数3名の純増を目標としてまいりましたが、委員の皆さんの努力と会長、幹事をはじめ会員の皆さまの絶大なるご支援、ご協力により、入会12名、退会2名で、合計10名の純増を果たすことができました。

特筆すべきは、今年度入会された会員のご尽力で、さらに2名の新会員を得ることができたということでありますから、入会歴の新旧を問わず、忌憚なく会員候補者の推薦や勧誘にあたっていただくようお願いいたします。

とくに、若年会員の周辺にこそ候補者が多数存在しておりますので、このことを念頭に置いて、ご協力をいただきたいと思います。

今年度の皆さまの絶大なるご支援に感謝して、報告に代えさせていただきます。



ロータリー情報委員長

新田 敬義

入会3年未満の会員と新会員へのオリエンテーションを11月2日と今年の4月11日に実施しました。11月25日の担当例会では「ロータリー～この不思議の国～」と題して、前ガバナー補佐の伊藤会員にスライドを交えご講話いただきました。

環境保全委員長 鴻野 幸泰

本年度は副委員長 小林 勝一さん、委員に田中 正躬さん、平 義孝さん、村瀬 勝彦さんでした。

基本方針は「環境保全の意義を沢山の人々に知っていただく」。

活動内容としては「森林・川など自然環境を保全する活動」として、10月に宇津江四十八滝にて谷川の清掃および森林保全についての話を森林インストラクターにして頂きました。その際の参加者は会員18名、飛騨高山高校 IAC より荒川・中島両顧問の先生と生徒の皆さん12名、計30名でした。

11月の担当例会では清見町の森林たくみ塾より小木曾様にお越しいただき、飛越源流森づくりについての卓話を聞かせていただきました。



例会報告

社会奉仕・ヘルス委員長

田中 武

基本方針

- ・ ロータークラブと社会奉仕との関わりについて理解を深め実践する。ロータリー会員の健康増進を図る（ヘルス）



今年度の事業報告を致します。

1. ソフトミニバレー大会を開催。
 - ・ 第56回ソフトミニバレー大会が昨年8月28日ビックアリーナーにて行われ斉藤会長、伊藤松寿会報委員長、私と3名で出席させて頂きました。
 - ・ 第57回ソフトミニバレー大会今年の3月11日に行われ斉藤会長、私と2名で出席させて頂きました。選手の皆さんの勝たなければと言う精神と及び会員さんの応援によりまして悲願の一勝を挙げました本当に有難う御座いました（来期は堺委員長さん、選手の皆さん宜しくお願い致します）
- 2、ゲストスピーチ
 - ・ 2月24日 会員の田近さんのご紹介で、岐阜県看護協会立の野崎加世子さんの介護に付いてご講話を頂きました。
 - ・ 5月25日 会員の葛谷さんのご紹介で、高山赤十字病院放射線科 松下捷彦さんの放射線についてご講話を頂きました。

青少年育成委員長

遠藤 隆浩

主だった行事では毎年恒例の小・中学校九ヶ年表彰を行わせていただきました。また担当例会では児童相談所の先生にきていただき地元での家庭における児童虐待について講演いただきました。



せっかく委員長の機会をいただいたので何か新しいことをとも思ったのですが何も目新しいことができず、来期の委員長さんに期待します。どうも一年間ありがとうございました。

<ニコニコボックス>

●高山中央RC 和田 良博さん

今日はお世話になります。

●齋藤 章さん

①小瀬 真之介さんの入会、心より歓迎申し上げます。

②今週来週と年度末の締めクラブアッセンブリーです。各委員長さんよろしく願いいたします。

●井辺 一章さん

高山中央クラブ和田さん、ようこそおいで下さいました。ごゆっくりどうぞ。新入会小瀬さん、これからもよろしく願いいたします。

●遠藤 隆浩さん

①クラブからお祝いをいただきありがとうございました。

②和田さん、いつもお世話になっています。

●小瀬 真之介さん

本日入会させていただきました。とても嬉しく思っています。色々教えていただく事も多いと思いますが宜しくお願い致します。

●阪下 六代さん

本日、小瀬 真之介さんの新入会を得て、今年度12人目の新会員を迎える事が出来ました。さすがにこれ以上という事はありません。皆様のこれまでのご支援、ご協力に感謝いたします。

●新田 敬義さん

小瀬さんの入会を歓迎いたします。

●畑手 康介さん

小瀬さんの入会を心よりうれしく思います。これからもよろしくお願い致します。歓迎とバッチ忘れの反省を込めてのニコニコです。

●岡田 賛三さん、野戸 守さん、垂井 政機さん

13日14日と名門ゴルフ研修会に参加いたしました。霞ヶ関ゴルフクラブ、東京ゴルフクラブ、両クラブとも素晴らしい歴史と風格があり流石と思いました。一緒に下さった皆様、ありがとうございました。

●菱川 正臣さん

健康に感謝して。

●田中 正躬さん

今年度も残す所今日と次回の二回となりました一年間にニコニコにご協力いただきありがとうございました。今日はアッセンブリーです。よろしく願いします。